

# 水分峡森林公園 再整備基本計画

府

中

町

## 目 次

1	計画概要	1
1.1	計画の目的	1
1.2	計画の位置付け	2
1.3	計画期間	2
2	水分峡森林公園の状況	3
2.1	交通アクセスの状況	3
2.2	公園内の状況	6
3	ニーズの把握	18
3.1	利用者アンケート調査	18
3.2	小学校アンケート調査	18
3.3	意見交換会の実施	18
4	再整備基本方針	19
4.1	再整備基本コンセプト	19
4.2	再整備基本構想	19
4.2.1	エリア設定	19
4.2.2	基本構想図	19
5	再整備計画	21
5.1	西エリア再整備計画	21
5.1.1	整備方針	21
5.1.2	ゾーニング	22
5.1.3	導入施設および整備内容	24
5.2	中央エリア再整備計画	28
5.3	東エリア再整備計画	29
5.4	整備の進め方	30
6	今後の公園活性化に向けた留意事項	31
6.1	アクセス道路	31
6.2	公園周知	31

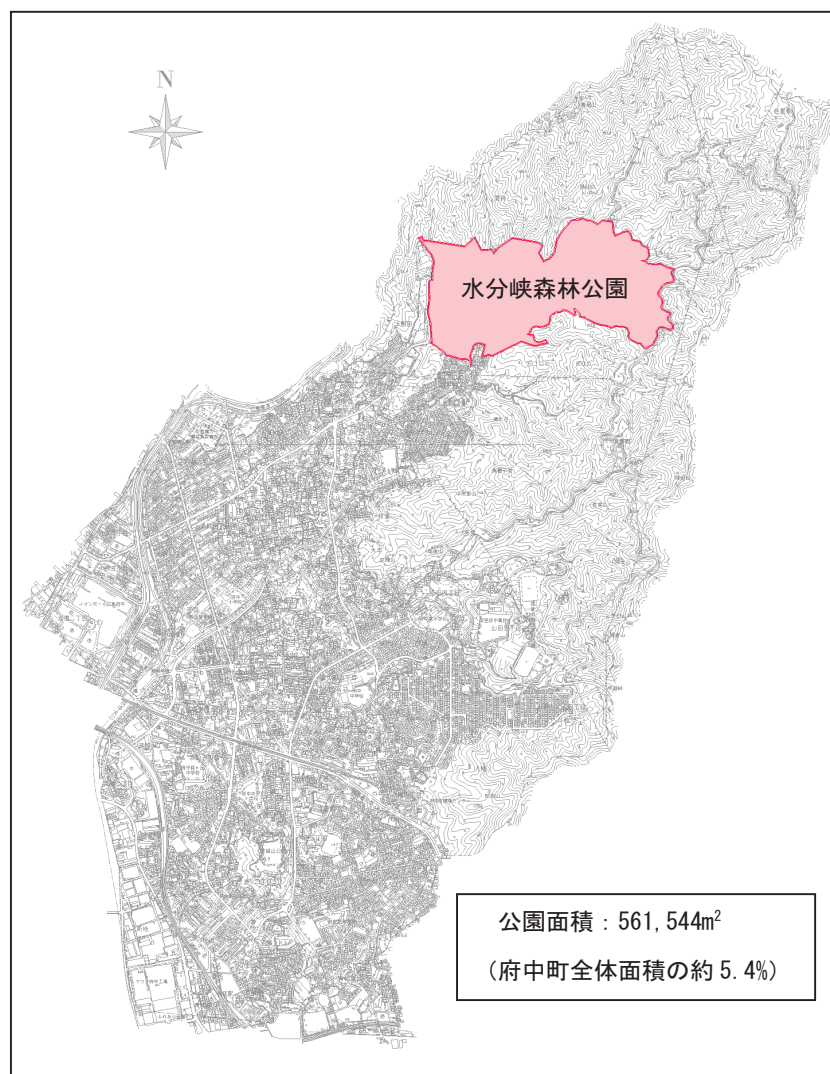
# 1 計画概要

## 1.1 計画の目的

府中町では、水分峡森林公園を自然系レクリエーションの拠点として位置付け、保全・活用に取り組んでいます。一方で、施設の老朽化や利用者ニーズの変化、森林管理不足などの課題が現状としてあり、その課題解決に向けて、水分峡森林公園の再整備を実施することとしました。

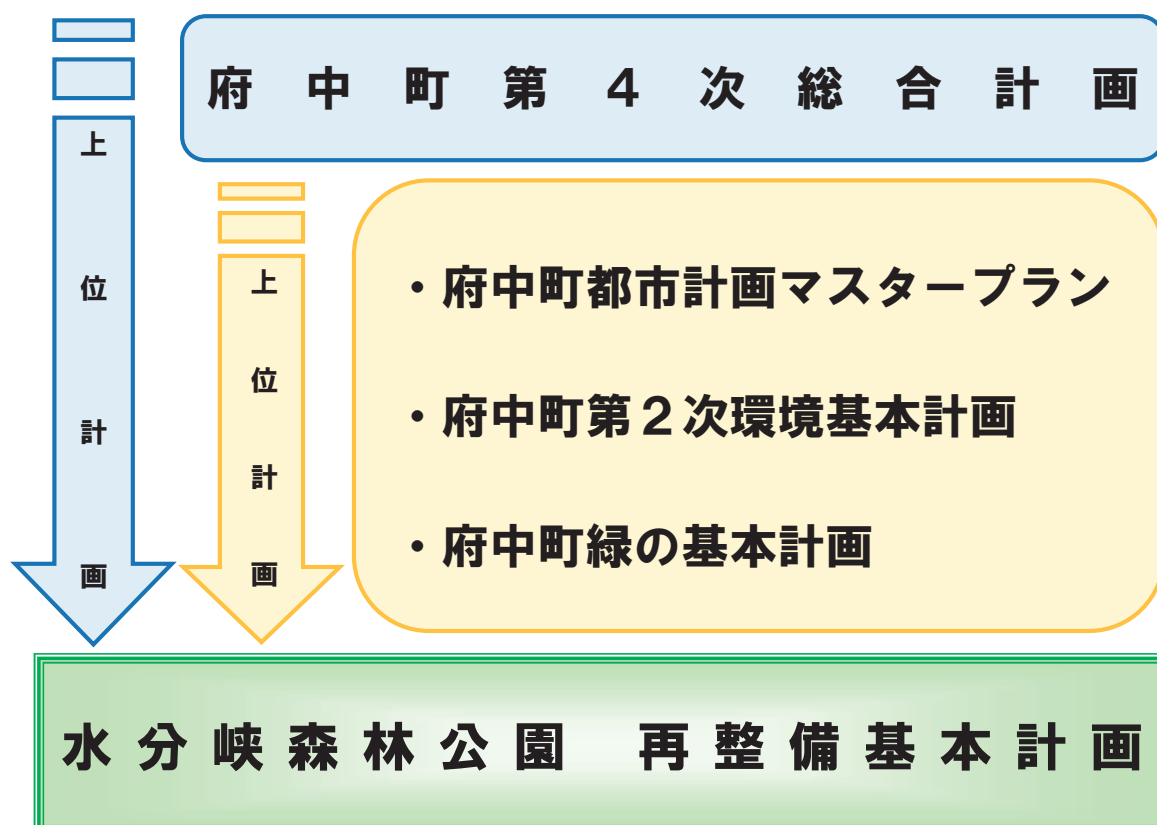
本計画は、水分峡森林公園再整備に向けた基本的な方針を示したもので、今後の再整備における最上位の計画となるものです。本計画では、「住民の身近な憩い・レクリエーションの場となる、自然豊かな森林公園」をテーマに、子供や高齢者に優しい公園を目指して、利用者ニーズに沿った公園整備を行うための基本計画を定めています。また、住民にとって、より親しみのある公園整備を行い、町内の魅力を引き立てることにより、定住促進につながるまちづくりを目指していくものです。

図-1.1 水分峡森林公園位置図



## 1.2 計画の位置付け

本計画は、上位計画である「府中町第4次総合計画」「府中町都市計画マスタープラン」「府中町第2次環境基本計画」「府中町緑の基本計画」と整合を取った計画として位置付けられます。



## 1.3 計画期間

本計画の期間は第4次総合計画の計画期間との整合を図り、平成30年（2018年）度から平成37年（2025年）度までの8年間とします。

## 2 水分峡森林公園の状況

### 2.1 交通アクセスの状況

#### (1) アクセス方法

バスおよび自家用車を利用した、本公園へのアクセス方法は次のとおりです。

##### □バスでのアクセス

###### ・広島バスセンター・JR 広島駅から(広電バス利用)

1. 県庁前または広島駅前から、広電バス 2 号線「府中山田行き」に乗車
2. バス停「みくまり峡入口」で下車(約 20 分)
3. 徒歩で榎川沿いに上流へ 1,500 メートル(約 25 分)

###### ・JR 天神川駅から(府中町内循環つばきバス利用)

1. 天神川駅から徒歩 5 分、府中交番前から、府中町つばきバス(右回り)に乗車
2. バス停「みくまり三丁目」で下車(約 7 分)
3. 徒歩で榎川沿いに上流へ 600 メートル(約 10 分)

##### □自家用車でのアクセス

###### ・JR 広島駅方面から(約10分)

1. 山陽新幹線沿いの主要地方道 84 号線東海田広島線を東へ
2. 府中大川にかかる府中大橋を渡り、左折
3. 府中町役場の前を通り、榎川沿いを上流へ

###### ・JR 向洋駅方面から(約10分)

1. (株)マツダ本社前の県道 164 号線広島海田線を北へ
2. 新大州橋の手前で右折、県道 272 号線上宮町新地線の茂陰トンネルへ
3. 府中町役場の前を通り、榎川沿いを上流へ

###### ・山陽自動車道広島東インターから(約15分)

1. 広島高速 1 号線を温品方面へ、間所出口を降りて左折し、鶴江橋西詰から府中町に入る
2. 県道 152 号線府中祇園線を行き、突き当りの交差点を左折
3. そのまま直進すると榎川に突き当たるので川沿いに上流へ

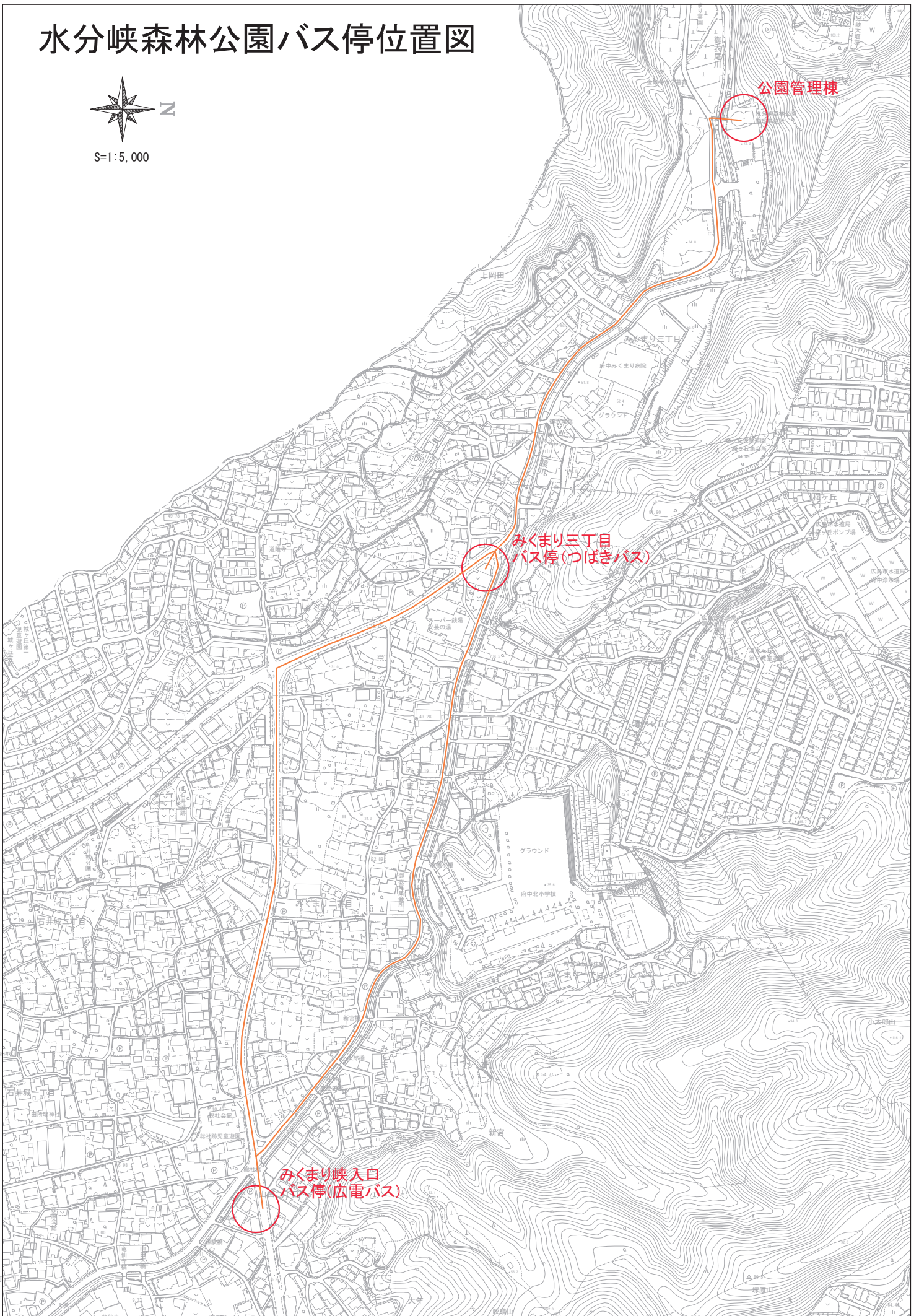
バスで本公園に行くには、最寄りのバス停から徒歩で 600m (つばきバス) か 1,500m (広電バス) 歩く必要があります、公共交通での来園には課題があります。

各バス停の位置と徒歩での移動経路は、次の図のとおりとなっています。

# 水分峡森林公園バス停位置図



S=1:5,000



## (2) アクセス道路

本公園への主なアクセス道路は、みくまり三丁目バス停付近から公園駐車場に接続する道路となっています。下記の写真に示すとおり道幅が狭く、車のすれ違いが難しい道路です。



## 2.2 公園内の状況

水分峡森林公園の主な施設の状況は以下の通りです。

### ○管理棟周辺

#### <特長>

- ・管理棟には、約 80 台の車が駐車できる広い駐車場が併設されています。
- ・管理棟の周辺はボランティア団体などによる手入れが行き届いており、春は川沿いに植えられた桜を楽しむことができます。

#### <課題>

- ・駐車場舗装は老朽化し、平らでない所やひび割れている所があります。
- ・駐車区画線がひかれていないため、効率的な駐車がしにくくなっています。また、障害者の駐車スペースも整備されていません。





## ○水分神社およびトイレ周辺

### <特長>

- ・石張り舗装や植栽が整備され、神社周辺に合った雰囲気となっています。
- ・川の水遊び場や水辺への階段などが整備されており、水とふれあえる機能が充実しています。
- ・管理棟から最も近い遊び場で、多くの利用者が訪れます。

### <課題>

- ・鳥居から神社付近は木が生い茂り、薄暗くなっています。
- ・川底は砂利や縁石の飛び出しなどがあり、水遊び場を裸足で利用する場合は注意が必要です。
- ・神社周辺での火気使用は禁止していますが、バーベキューや焚き木の跡がみられます。



## ○ミズキ広場

### <特長>

- ・複数グループがピクニックできる広場です。

### <課題>

- ・広場までの園路は、岩が露出しており歩きにくくなっています。
- ・広場は背の高い雑草が生えており、東屋やベンチは老朽化が進んでいます。
- ・広場周辺に木が生い茂り、周辺からの見通しが悪くなっています。



## ○ケヤキ広場周辺

### <特長>

- ・広場横に水遊び場が整備されており、本公園に訪れる主な目的の一つとなっています。
- ・水遊び場は水深が浅く、砂地であるため、子供の遊び場として人気の場所です。
- ・広場からの見通しがよく、子供を見守りやすくなっています。

### <課題>

- ・広場の中央に園路があることと、ところどころに木が生えていることから、広場全体の広さに対してピクニック可能な場所が少なくなっています。
- ・川沿いのテーブルセットは、老朽化が進んでいます。
- ・水分神社方面からケヤキ広場までは、急な階段や幅の狭い園路を通る必要があります。
- ・ケヤキ広場とキャンプ場との間の園路は、凹凸が生じ歩きにくくなっています。
- ・ケヤキ広場下の大堰堤には土砂が堆積しているため、土砂の撤去工事が必要です。



## ○キャンプ場周辺

### <特長>

- ・本公園の中でも、比較的大きな広場があります。
- ・炊事場があり、バーベキューなどを行うことができます。
- ・キャンプ場横には川が流れており、水遊びができます。

### <課題>

- ・キャンプ場広場は傾斜があり、利用しにくい箇所も多くあります。
- ・管理棟からのアクセスは、長い坂道のある管理道を登るか、急な階段や幅の狭いところがある園路を通る必要があります。ただし、荷物の運搬に限り、府中町へ事前申請することで、管理道を車で通行することができます。



## ○もみじ道

### <特長>

- ・管理棟駐車場から続く管理道の途中にあります。道路沿いに並ぶようにモミジの木が植わっているので、秋には歩きながら綺麗な紅葉を楽しむことができます。
- ・もみじ道周辺は舗装された坂道のため、散歩やジョギングに適した場所となっています。



## ○二段池

### <特長>

- ・もみじ道から少し登ったところにある、公園内に流れる水を活かした修景池です。
- ・元々、ほとんど水が流れておらず、沼のようになっていましたが、水を引き込むための工事を行い、水が流れ落ちるように整備しました。



### ○草摺（くさずり）の滝

#### <特長>

- ・本公園の見どころの一つで、水が幾重にも重なり合いながら落ちていく様子が鎧の腰のまわりを覆う「草摺」に似ていることから、江戸時代の末期に名付けられたと言われる滝です。



### ○振打岩（ふりうちいわ）

#### <特長>

- ・巨大な一枚岩で、最近ではボルダリングの練習場所として利用されています。

#### <課題>

- ・案内板が設置されていますが、周辺の木々の影にあるため、対岸にある道路からは見えづらくなっています。



## ○もみじ谷

### <特長>

- ・溪流沿いにモミジの木が立ち並んでいます。秋には綺麗な紅葉と溪流の流れを楽しむことができます。

### <課題>

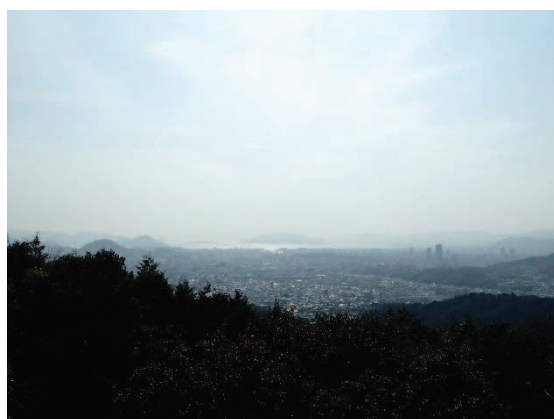
- ・もみじ谷までの遊歩道には、柵が破損している場所があり、通行に注意が必要です。



## ○展望台（もみじ谷北西側）

### <特長>

- ・振打岩の近くからもみじ谷北側の管理道につながる遊歩道沿いにある展望台です。府中町から広島市街地、宮島などを望むことができます。
- ・公園内でも標高が高い場所にあるため、登山利用者などの休息場所として利用されています。



## ○石ころび池

### <特長>

- ・公園上流にある大きな池で、春から夏にかけてスイレンの花を見ることができます。今年度に池に流れ込んだ土砂の撤去工事を行いました。
- ・池のほとりには東屋があり、休養場所として利用することができます。



## ○展望台（石ころび池南側）

### <課題>

- ・石ころび池南側の遊歩道沿いにある展望台ですが、周辺の木が展望台からの眺めを遮っています。
- ・施設は老朽化が進み、手すりなどが一部錆びています。





## ○憩の広場

### <特長>

- ・公園内で最も大きな広場であり、作業棟やトイレが整備されています。
- ・広場周辺には桜の木が立ち並び、春には花見を楽しむことができます。

### <課題>

- ・テーブルセットやベンチは劣化が進んでいます。
- ・広場の東側にある駐車場は、急な階段か管理道を遠回りする必要があり、利便性が良くありません。
- ・電気設備や給水設備は整備されていません。(トイレ洗浄水は雨水を利用)



## ○東側駐車場

### <特長>

- ・憩の広場東側にある駐車場です。東屋とトイレが整備されています。
- ・標高の高い場所にあるため眺めが良く、春には花見をすることもできます。

### <課題>

- ・周辺の木々の枝が駐車場を覆うように伸びているため、背の高い車は駐車できません。
- ・憩の広場等へは、急な階段か管理道を遠回りする必要があり、利便性が良くありません。
- ・駐車場には東屋やトイレが整備されていますが、老朽化が進んでいます。



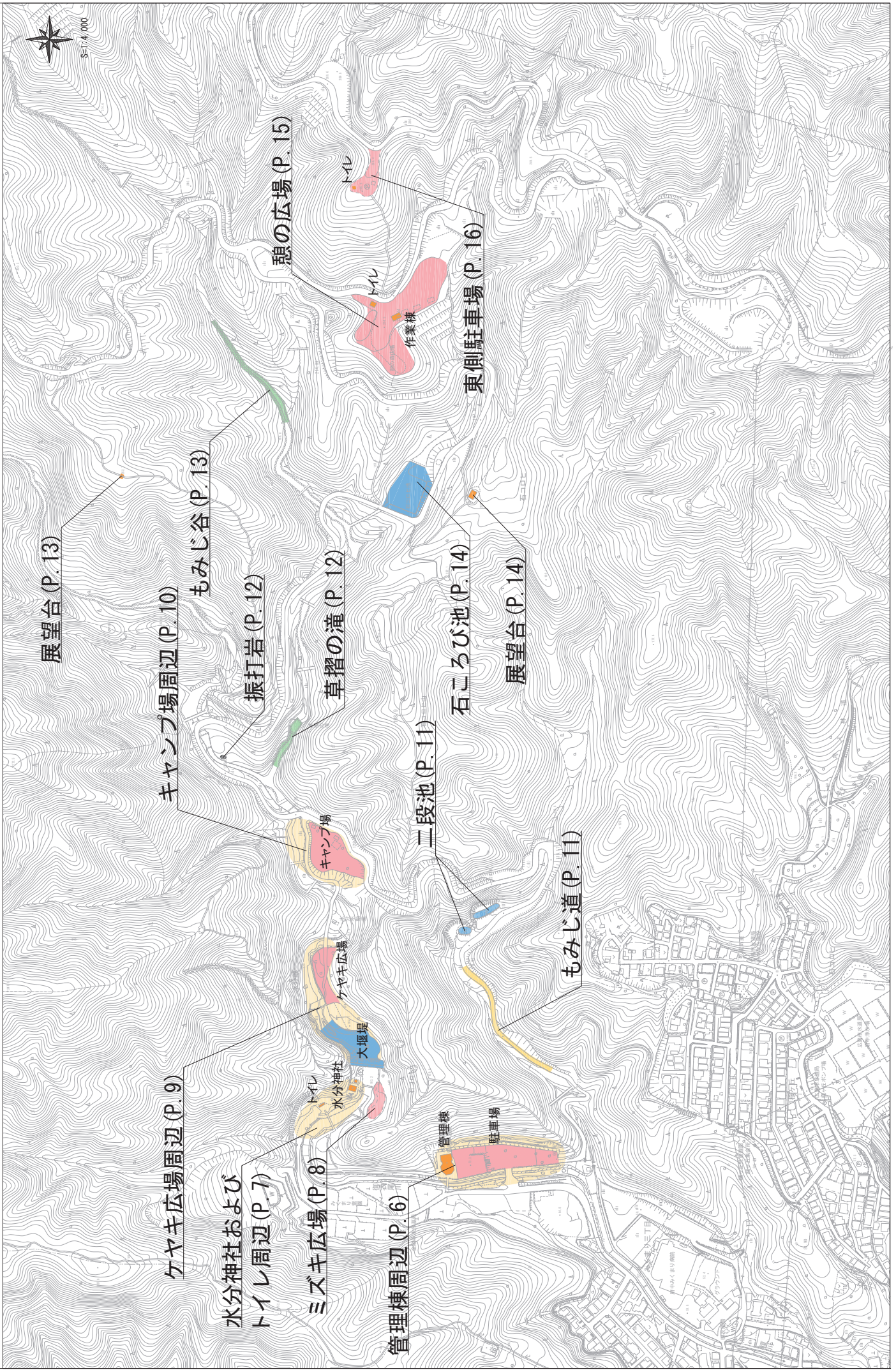
## ○その他

### <課題>

- ・公園内の施設は、全体的に老朽化が進んでいます。
- ・駐車場が少なく、特に公園東側については園内のアクセスが悪くなっています。



# 水分峡森林公園現況施設位置図



### **3 ニーズの把握**

水分峡森林公園に関する住民のニーズを把握するため、以下の調査を実施しました。

#### **3.1 利用者アンケート調査**

公園利用者の要望や利用実態を把握し、計画に反映させるために、平成 29 年 7 月 1 日から 8 月 22 日までの期間で公園利用者を対象としたアンケート調査を実施し、119 名の回答がありました。

#### **3.2 小学校アンケート調査**

利用状況をより詳細に把握するため、利用頻度が高い世代が多いと思われる、府中町内の小学校に通う児童の保護者を対象にアンケート調査を実施し、1,277 名の回答がありました。

#### **3.3 意見交換会の実施**

水分峡森林公園やその周辺の保全活動を行う、ボランティア団体（みくまりの森サポートクラブ）と水分峡森林公園再整備計画に関する意見交換会を実施しました。

## 4 再整備基本方針

前章までに把握した公園内の状況やニーズを踏まえて、水分峡森林公園の再整備基本方針を策定しました。再整備基本方針は、「再整備基本コンセプト」と「再整備基本構想」で構成します。

### 4.1 再整備基本コンセプト

本公園の緑豊かな自然環境を活かし、府中町の地域住民および広島市近郊の住民が自然とふれあいながら憩い、レクリエーション活動が可能な公園整備を目標に、本計画の最も大きな目標となる、再整備基本コンセプトを次のとおり設定しました。

住民の身近な憩い・レクリエーションの場となる、自然豊かな森林公園

### 4.2 再整備基本構想

再整備基本コンセプトに沿って再整備における具体的な方向性や目標を整理した、再整備基本構想を以下に示します。

#### 4.2.1 エリア設定

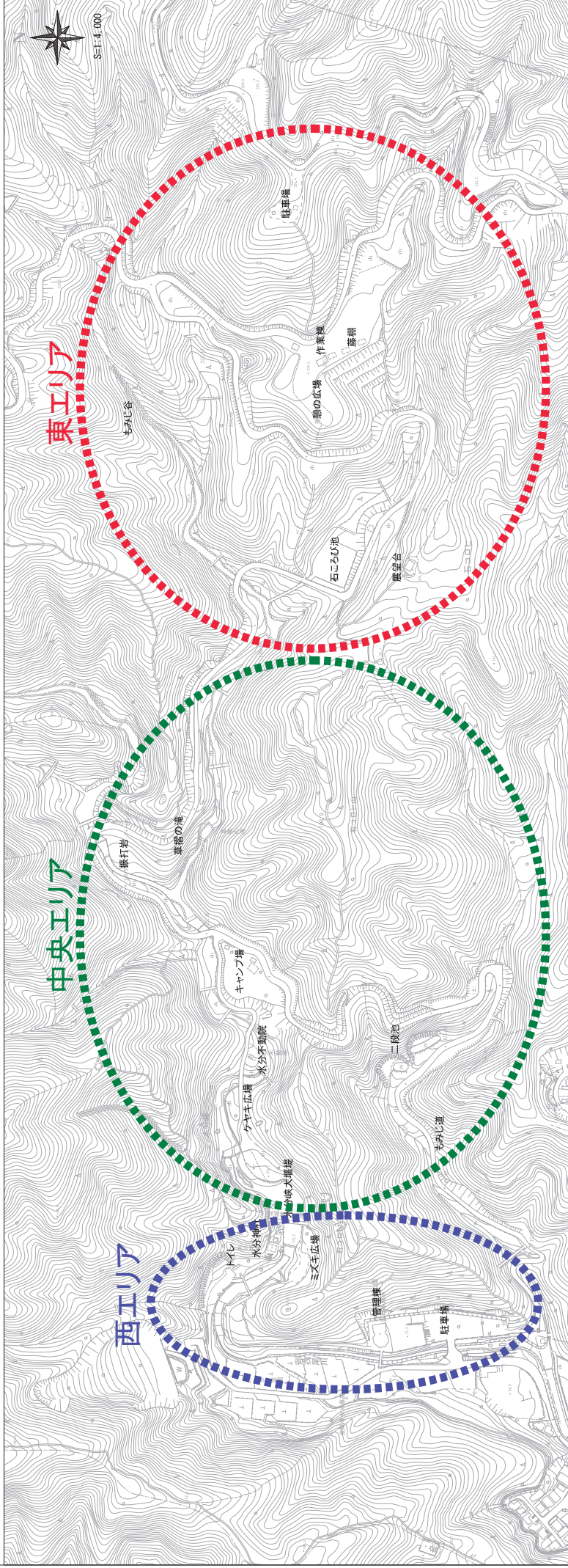
水分峡森林公園全域の再整備を同時に実施することは、計画期間内に財政負担が集中することや、整備した施設の更新時期が重なってしまうことから適当ではありません。そこで、利用者の傾向や地形などの特徴を考慮したエリア設定を行い、エリアごとの再整備を順次実施することとします。また、エリアごとに再整備テーマを設け、テーマに沿った整備内容を検討することで、各エリアの一体的な魅力創出を目指します。

本公園は、主な公園施設が東西方向に広く分布していることから、管理棟を中心とした「西エリア」、キャンプ場を中心とした「中央エリア」、憩いの広場を中心とした「東エリア」の3エリアに分けて再整備を行います。

#### 4.2.2 基本構想図

各エリアの現状や特徴、ニーズを踏まえて、各エリアの整備テーマとイメージを整理した基本構想図を作成しました。

# 水分峡森林公園再整備基本構想図



## 再整備基本コンセプト：住民の身近な憩い・レクリエーションの場となる、自然豊かな森林公園

### 西エリア(にぎわいエリア)

- 整備テーマ  
多くの人が集い、安全に楽しめる『にぎわいエリア』
- 整備イメージ  
公園の顔として、賑わいを創出するための整備  
新たな機能を導入し、多くの人が訪れるための整備
- 導入機能  
エントランス機能  
親水機能  
アウトドア機能
- 導入施設例  
水遊び場  
休養施設  
BBQサイト



### 中央エリア(自然ふれあいエリア)

- 整備テーマ  
自然と多角的にふれあい可能な『自然ふれあいエリア』
- 整備イメージ  
自然を視覚的、活動的に楽しむための整備
- 導入機能  
アウトドア機能  
遊戯機能  
修景機能
- 導入施設例  
キャンプサイト  
修景施設  
水遊び場



### 東エリア(憩いのエリア)

- 整備テーマ  
自然に囲まれリフレッシュ可能な『憩いのエリア』
- 整備イメージ  
憩いの広場を中心とした、利用者拡大に向けた整備  
既存の施設、機能、自然環境を活かした整備
- 導入機能  
休養機能  
修景機能  
広場機能
- 導入施設例  
休養施設  
修景施設  
ピクニック広場



## 5 再整備計画

前章に示した基本構想を基に、再整備計画を以下のとおり策定しました。なお、本計画の期間では、公園の顔となる位置にあり、現状の課題を多く解決できる可能性があると判断した西エリアの整備を実施します。そのため、西エリアについて具体的な整備内容を検討しました。中央エリア・東エリアについては、次期計画で具体的に検討しますが、基本構想に沿った整備内容案を示します。

### 5.1 西エリア再整備計画

#### 5.1.1 整備方針

前章で設定した基本構想を基に、西エリアの整備方針を以下のとおり設定しました。

#### 西エリア整備方針

1. 安全に利用可能な水遊び場整備
2. 快適に利用可能な見守り施設整備
3. 新しい機能として、手軽に利用できるアウトドア施設整備
4. 利便性を向上し、多くの人々が利用するための整備
5. 水辺の生態系を保全すると共に自然環境に親しむための整備
6. 遊びの疲れを癒すための、休息場所の整備

### 5.1.2 ゾーニング

前節で示した整備方針に対応するゾーンを以下のとおり設定し、西エリアのゾーニングを行いました。

#### 1. 水遊びゾーン

安全に利用可能な水遊び場整備を行います。神社下の橋の西側を対象とします。

#### 2. 水辺の広場ゾーン

快適に利用可能な見守り施設整備を行います。また、水遊びゾーンを子供たちが安全に利用できるよう整備します。

#### 3. アウトドアゾーン

公園の新しい機能として、手軽に利用できるアウトドア施設整備を行います。中央エリアのキャンプ場は宿泊を伴うキャンプ、本ゾーンはデイキャンプ用の広場として棲み分けを図ります。

#### 4. エントランスゾーン

多くの方が利用可能となる整備を行います。公園入口の利便性向上を目標とします。

#### 5. 水辺の環境保全ゾーン

水辺の生態系を保全すると共に自然環境に親しむための整備を行います。特に、水分神社付近の川においては、現在生息しているホタルを保全するエリアとして位置付けます。

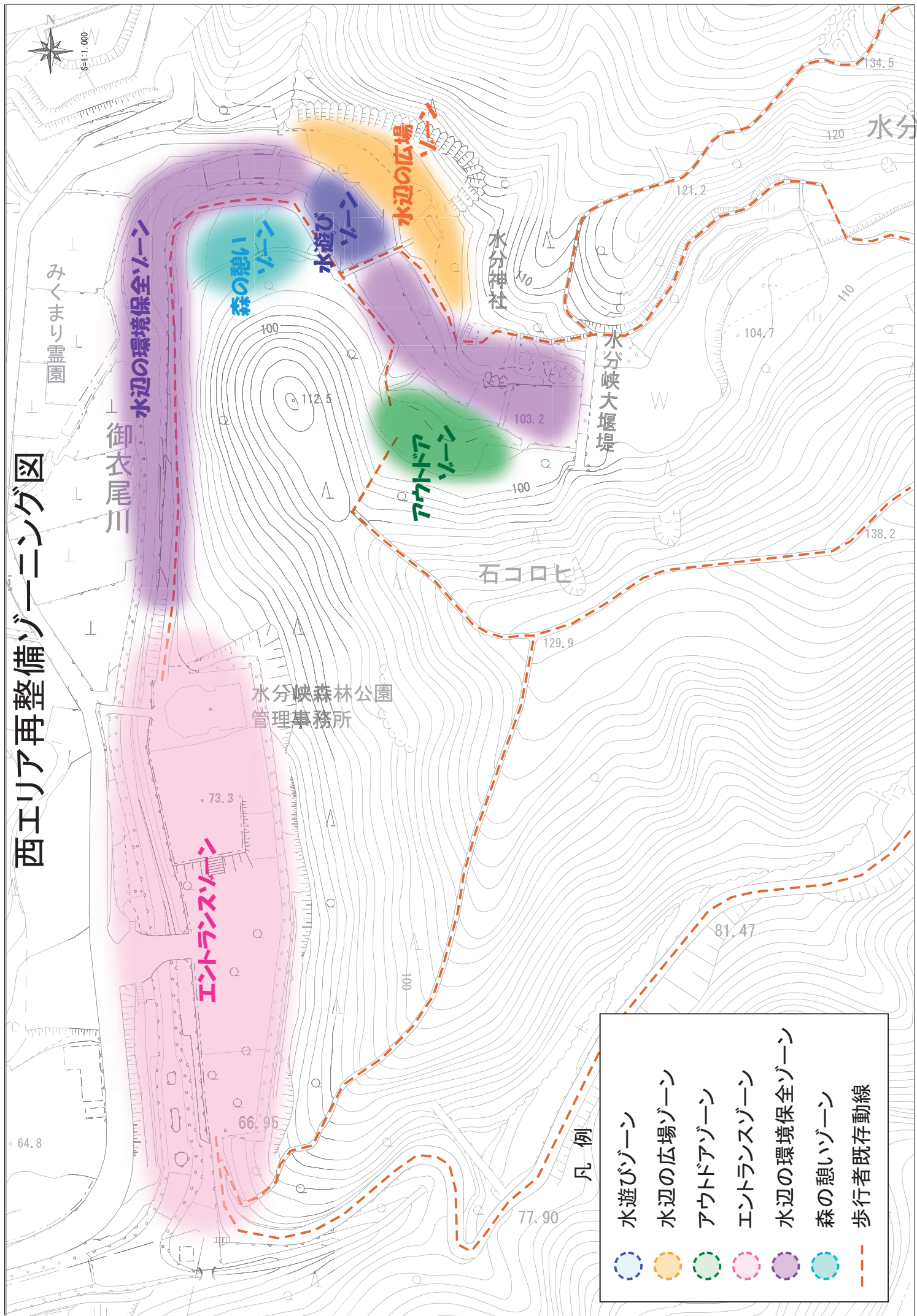
#### 6. 森の憩いゾーン

遊びの疲れを癒すための、休息場所の整備を行います。木陰の休息場所として、森林部に休養施設を整備します。

※ゾーニングとは…利用目的や内容別に整備範囲をいくつかの区域（ゾーン）に分けて計画する手法のことです。



# 西エリア再整備ゾーニング図



### 5.1.3 導入施設および整備内容

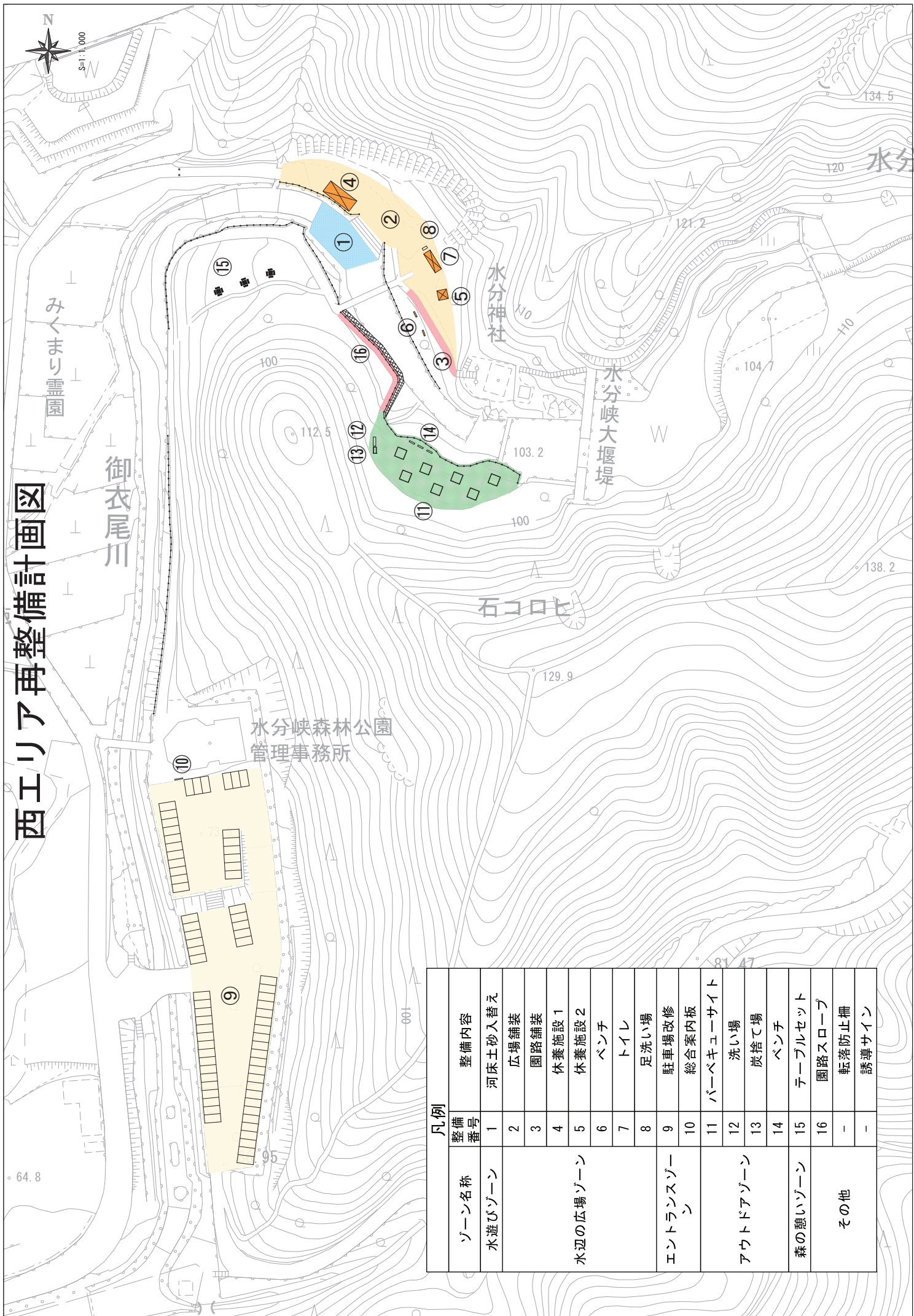
前節までの整備方針およびゾーニングに沿った、導入施設、配置計画を以下のとおり定めました。

表-5.1 西エリア整備内容一覧表

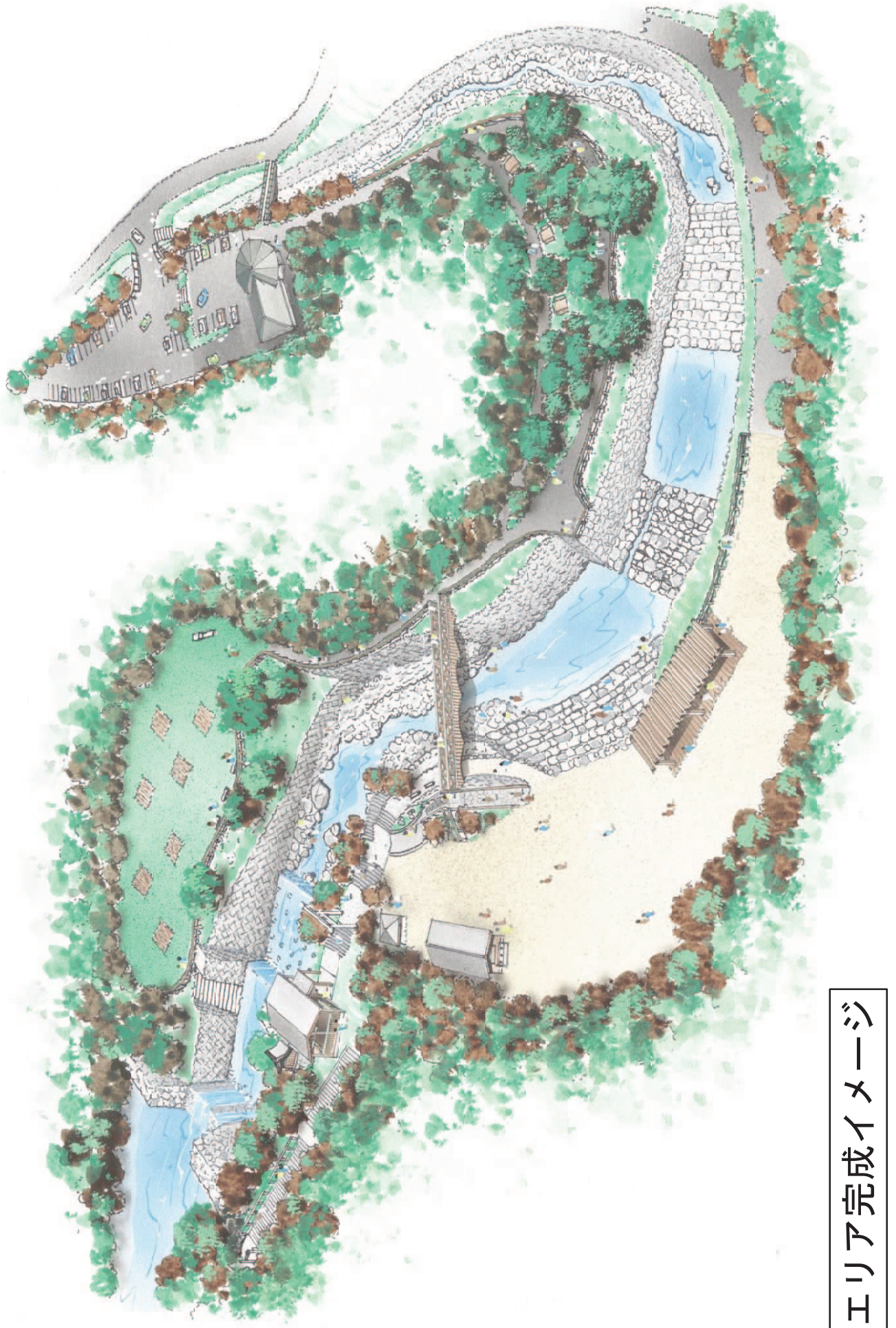
ゾーン	整備番号	整備内容	備考
水遊びゾーン	1	河床土砂入替え	現在、水遊び場の河床に岩や石が点在しており、子供が怪我をする恐れがあります。安全上の観点から、岩や石を除去するため、河床土砂の入替えを行います。
水辺の広場ゾーン	2	広場舗装	現在、水辺の広場ゾーンは、一部を除いて舗装がされていない状況で、砂利が転がっており、水遊びゾーンで遊んだ裸足の子供が怪我をする恐れがあります。裸足での利用を想定し、安全な舗装を行います。
	3	園路舗装	水辺の広場ゾーンは、水分神社と隣接する広場です。歴史ある水分神社周辺の景観を守るために、参道をイメージした舗装を行います。
	4	休養施設1	水遊びゾーンで遊ぶ子供を快適に見守るために、水遊びゾーンに隣接して、見守りや休養するための日除け付きの休養施設を設置します。デザインは海辺の棧敷席をイメージしたデザインとします。
	5	休養施設2	遊びや散歩、登山などの疲れを癒すために、屋根付きの休養施設を設置します。神社周辺としての景観や、周辺の自然環境に調和したデザインとします。
	6	ベンチ	川辺での休息や子供の見守りを行うために、川辺にベンチを設置します。神社周辺としての景観や、周辺の自然環境に調和したデザインとします。
	7	トイレ	既存のトイレには多目的トイレがなく、障害者や高齢者、子供連れの利用がしにくい状況となっていることから、多目的トイレを備えたトイレへの改築を計画します。神社周辺としての景観や、周辺の自然環境に調和したデザインとします。
	8	足洗い場	水遊びゾーンを利用した子供が汚れを流すための足洗い場を設置します。

ゾーン	整備番号	整備内容	備考
エントランスゾーン	9	駐車場改修	現在、駐車場には駐車区画線が引かれておらず、効率的な駐車ができていません。また、駐車場の舗装にはひび割れや凹凸が生じています。快適かつ効率的に多くの人が利用できるよう、舗装の打替えと駐車区画線の整備を行います。
	10	総合案内板	現在、公園の案内を示す案内板がエントランスゾーンには整備されておらず、はじめて来場する人にとって利用しにくい状況となっています。公園全体の地図や施設を示す、総合案内板を設置します。デザインは森林公園にふさわしい、自然と調和したデザインとします。
アウトドアゾーン	11	バーベキューサイト	アウトド機能の新規導入にあたり、バーベキューサイトを設置します。多くのグループが効率よく、安全にバーベキューを行える配置とし、延焼防止のための舗装を行います。
	12	洗い場	バーベキューサイトの設置に伴い、洗い場を設置します。
	13	炭捨て場	バーベキューに使用した炭を適切に処理するために、炭捨て場を設置します。清掃や火の元の処理を行うために、洗い場に併設する配置とします。
	14	ベンチ	アウトドアゾーンと水分神社の間の川には、ホタルが生息しています。初夏のホタル観賞を目的として、ベンチを設置します。
森の憩いゾーン	15	テーブルセット	森林内での木陰の休憩場所として、既存の遊歩道沿いにテーブルセットを設置します。
その他	16	園路スロープ	現在、水分神社下の橋からミズキ広場へ行く際には、岩の露出した園路や急な自然石階段を通る必要があり、荷物を持った状態での通行が難しくなっています。アウトドアゾーンへの通行を容易にし、多くの人が利用可能な施設となるよう、橋から広場まで、階段を使用せずに通行可能なスロープを設置します。
	-	転落防止柵	現在、管理棟から水分神社方面への園路の一部には、転落防止柵が設置されていますが、柵が設置されていない、危険な箇所も多くあります。高低差があり、落下の恐れがある全域に転落防止柵を設置します。
	-	誘導サイン	施設の方向を示す、誘導サインを設置します。誘導サインは、視認性が良く、周辺の景観を損ねない色合いのデザインとします。

# 西エリア再整備計画図



凡例	
ゾーン名称	整備内容
水遊びゾーン	1 河床土砂入替え
	2 広場舗装
	3 園路舗装
水辺の広場ゾーン	4 休養施設 1
	5 休養施設 2
	6 ベンチ
	7 トイレ
	8 足洗い場
エントランスゾーン	9 駐車場改修
	10 総合案内板
アウトドアゾーン	11 バーベキューサイト
	12 洗い場
	13 炭捨て場
	14 ベンチ
森の憩いゾーン	15 テーブルセット
その他	16 園路スロープ
	- 転落防止柵
	- 誘導サイン



西エリア完成イメージ

## 5.2 中央エリア再整備計画

整備テーマに沿って、自然とのふれあいを重視した整備を検討していきます。

表-5.2 中央エリア整備内容案

整備箇所	整備内容	備考
キャンプ場 広場の整備	キャンプ場 広場の整備	ミズキ広場をデイキャンプ場として整備する計画となっているため、宿泊キャンプに特化した整備を検討していきます。
	シリブカガシの森整備	シリブカガシはドングリの形が特徴的なブナ科の植物です。群生が難しい希少な品種ですが、キャンプ場付近に群生しています。このシリブカガシの森を保護するための整備を検討します。
	放送設備 設置	園内アナウンスのための放送設備の設置を検討します。駐車場の閉門時間などの基本情報のほかに、季節ごとの園内の見どころなどを放送することもできます。
ケヤキ広場 周辺	木道再整備	西エリア側からケヤキ広場に入る際の木道(小橋)が老朽化しているため、補修または更新を検討します。
	親水広場 整備	ケヤキ広場を流れる川は、流れが緩やかで水深が浅く小さな子供でも水遊びができる人気の場所です。そのため、小さな子供がより安全に遊べるよう、川の整備を検討します。
	休憩場所の 設置	ケヤキ広場にはベンチがありますが、老朽化がすすんでいます。また、日差しが強い日は木陰で休むことができますが、毛虫などが気になる人もいます。そこで、屋根付きの休憩施設の設置を検討します。
	トイレの 設置	ケヤキ広場は子供連れに人気の場所にもかかわらず、トイレが近くにありません。子供連れが安心して遊べるよう広場付近にトイレの設置を検討します。
	大堰堤の 浚渫	洪水を防ぐため、大雨などによって堰堤に流れ込んだ土砂を定期的に取り除く必要があります。また、ケヤキ広場から大堰堤に注ぐ川も土砂で浅くなり、水が淀んでいるため、合わせて整備を検討します。
遊歩道	樹名板の 設置	遊歩道を歩きながら、木の種類などを学ぶことができるよう、遊歩道沿いの木々へ樹名板の設置を検討します。
草摺の滝	-	草摺の滝の美しい景観は、あまり手のくわえられていない自然によるものなので、景観を損ねることのないよう、必要最低限の整備を行います。
振打岩	案内・注意 看板の設置	振打岩は、ボルダリングの練習場所としてテレビでも紹介されるなど、有名になっています。ボルダリングのルートや利用の際のマナーなどを示した看板の設置を検討します。

### 5.3 東エリア再整備計画

整備テーマに沿って、自然を最大限活かした利用者拡大のための整備を検討していきます。

表-5.3 東エリア整備内容案

整備箇所	整備内容	備考
憩の広場 周辺	水洗トイレ・ 給水設備の 整備	憩の広場や東側駐車場には大きな桜の木があるため、お花見スポットとしての活用などが期待されます。しかし、現状は水が引かれておらず、汲み取り式トイレのみのため、利便性がよくありません。お花見やイベントでの利用拡大のため、給水設備と水洗トイレの整備を検討します。
	ドッグラン の設置	山の中にあり、犬の鳴き声などが周囲の迷惑にならないこと、細長い形状の広場であることから、時期を問わない憩の広場の活用法としてドッグランの設置を検討します。
	ドローン使用可能エリアの設定	憩の広場の上空は電線等がなく、ドローンを比較的安全に飛ばすことができます。また、ドローンのカメラを利用すれば、広島市の街地を一望できる絶景を録画することもできます。そこで、時期を問わない憩の広場の活用法として、広場をドローン使用可能エリアとして設定し、ドローン使用のルールと合わせて広報することを検討します。
石ころび池	遊歩道整備	石ころび池は春から夏にかけてスイレンの花がきれいに咲く場所ですが、管理道から池まで若干の距離があります。そこで、間近でスイレンの花を観賞できるように、池の周りを一周する栈道や、池の上を通る八つ橋などの設置を検討します。
展望台	眺望の改善	石ころび池の近くにある展望台は、木々に遮られ、眺めを楽しむことができなくなっています。そこで、展望台からの見晴らしが改善されるよう、周辺の木々の管理を検討します。
	展望台整備	石ころび池の近くにある展望台は老朽化が進んでいます。眺望の改善とあわせて、自然と調和したデザインの展望台に更新することを検討します。
もみじ谷	遊歩道補修	もみじ谷までの遊歩道は老朽化し、破損している場所もあります。利用者が安全に通行できるよう、柵の補修とあわせて、遊歩道の整備を検討します。
東エリア 全域	アクセスの 改善	東エリアは、日中の時間に限り東側駐車場までは車で通行することができます。しかし、東側駐車場から他の場所へのアクセスが悪く、利用者が少ない要因の一つとなっています。そこで、車の通行可能エリアを見直すとともに、憩の広場周辺に駐車場を整備することを検討します。

## 5.4 整備の進め方

水分峡森林公園をより多くの人々が魅力を感じる公園にしていくためには、これから水分峡森林公園を利用する様々な住民の意見を取り入れた整備を行う必要があります。しかし、水分峡森林公園には保安林などがあり、自由な整備ができるわけではありません。そのため、今回の西エリアの整備については、あらかじめ町が検討した整備内容について説明会を実施し、寄せられた意見を整備計画に反映していくこととします。また、中央エリアと東エリアについても、これまでどおり日常的な維持管理は継続して実施しながら、具体的な整備内容を検討していきます。

＜西エリア再整備の流れ＞

### ①住民説明会の実施・意見の募集

本計画で検討した西エリアの整備内容について、住民説明会を実施します。説明会で出された意見や町へ直接寄せられた意見を集約し、計画へ反映させるための検討を行います。

＜実施予定期間＞平成30年（2018年）度から平成31年度（2019年）まで

### ②具体的な計画の決定

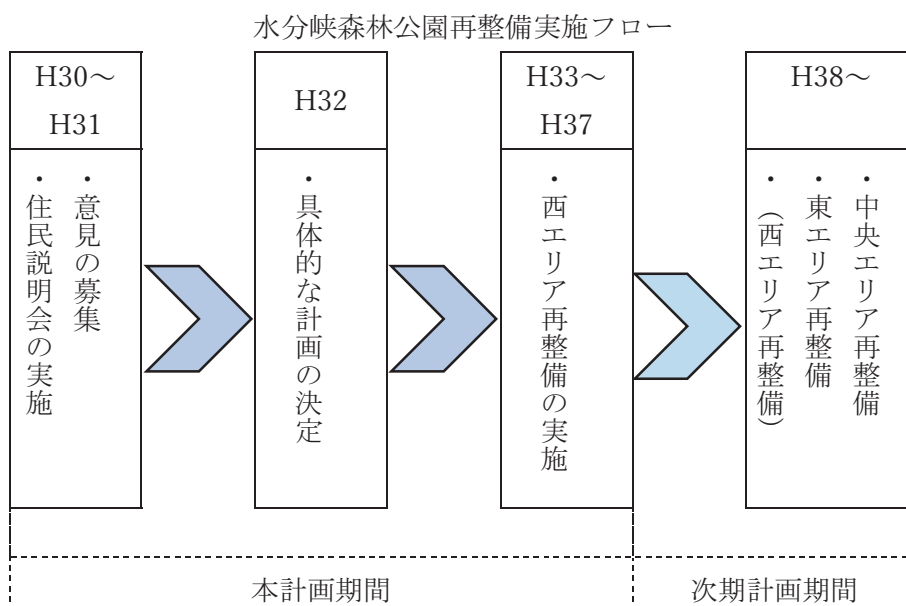
①の検討結果や財政状況を考慮し、翌年度以降に再整備を実施するための具体的な計画を決定します。

＜実施予定期間＞平成32年（2020年）度

### ③再整備の実施

水分峡森林公園西エリアの再整備を実施します。また、必要に応じて計画の見直しを随時実施します。

＜実施予定期間＞平成33年（2021年）度から平成37年（2025年）度まで





## 6 今後の公園活性化に向けた留意事項

### 6.1 アクセス道路

より多くの方が快適に利用できる公園づくりを進めるためには、公園内の整備だけでなく、公園を訪れるための交通アクセスの課題を解決する必要があります。今後、アクセス道路の拡張や、つばきバスの公園前停留所設置など、交通アクセスを改善する方法を検討していきますが、まずは、道幅が狭いアクセス道路での車のすれ違いを改善するため、公園までの道路にある側溝への蓋掛けの実施を検討しています。



### 6.2 公園周知

アンケート調査結果で分かるように、本公園を利用したことがない人も少なくありません。今後、施設整備などのハード対策のみではなく、ソフト対策である周知方法などについても検討をしていきます。